

反対

増税や社会保障費の削減が続く状況下で、
区民の暮らし応援のための施策に踏み込む
べき

共産党

本決算年度は、長期不況の下、増税や社会保障費削減という年だった。こうした状況の中で、我が党区議員は区民の暮らし応援のための条例や予算の増額修正案を提出したが、残念ながら否決された。

第一に、本決算に決着する予算は、全体に5%の削減をかけた事業見直しを行う中で、荒川二丁目複合施設は事業規模を縮小すべきと求めたにもかかわらず、建設規模の拡大が進められてきた。施策の優先順位が間違っているのではないかと。第二にタブレットPCの全校・全児童1人1台体制の推進は、教育的な検討もいまま多額の投資は容認できない。また、これまでのコンピュター室のパソコンリース代も残され無駄遣いに

賛成

区民誰もが、荒川区に住んでいてよかったですと実感できる区政となるよう、さらなる取り組みを求める

民主・市民

本決算については、限られた財源を重点的かつ効果的に配分すること、事務事業の再点検・見直しを図ること、中長期的な視点に立った財政運営を行うことといった当初の狙いがしっかりと果たされたのかという視点で決算審査に臨んだ。水害への対策等では、ハザードマップ作成や想定浸水深の表示、防災課等への雨水タンクの活用、児童虐待の増員を求め、子どもの貧困、児童虐待の問題では、妊娠届・母子健康手帳配付時の対応改善や子ども家庭支

反対

議会の異論にもかかわらず強引に施策を推進。
区民の暮らしがどうしたら豊かになるか、
答えを出せる区政に。

元気クラブ

隅田川の「永久水利」による防災対策、タブレットPC、荒川二丁目複合施設等に反対したが、議会の異論にもかかわらず、半ば強引に進められた。区長が「3回の

反対

国益を常に考え、歴史の縦軸の中で何をしっかりと引き継ぐべきかという大局観をもつべき

日本創新党

学校教育全体を道具頼りで自律性のない方向に劣化させるタブレットPCの全校導入に向けたモデル校事業を強行した。子供にタブレットPC等を使わせる害悪につ

反対

荒川二丁目複合施設建設やサンパールの大規模改修、無計画な学校教育のデジタル化で1億円超の税金の無駄は容認できない

正論の会

決算認定に反対の討論をする。姿勢は変わらず、後年度負担を余他自治体では、箱モノ建築の見直しや公共施設の効率化・集約化などを進めている。一方、荒川区は

賛成

永久水利には、利用が限定される河川水ではなく、多目的に使える深井戸を進めるべき

改革の会

荒川区の財政が厳しい中で、単独負担事業として隅田川を利用した、あらかわ遊園永久水利事業が、当初予算1億7千万円で実施されたが、今後も河川利用の事

委員会活動

3月18日～10月15日

平成26年第一回定例会終了後から平成26年度定例会・9月会議最終日までの間の各委員会の活動状況をお知らせします。

議会運営委員会

議会改革に関する調査や、議事の取り扱い等についての協議を実施

開会数 13回(ほか理事会10回)
案件 請願・陳情審査1件

常任委員会

北海道小樽市「市議会の議会運営委員会運営」、北海道旭川市「政務活動費の運用」、「市民と議会の意見交換会等の議会広報」

総務企画委員会

「親なき後の支援に関する研究プロジェクト」の報告書や創業支援実施計画の実施について調査

開会数 12回
案件 議案審査9件
所管調査事項10件

【所管調査事項】

行政改革について
産業振興について
創業支援事業計画の実施
「親なき後の支援に関する研究プロジェクト」の報告書
指定管理施設に関する平成25年度の実績評価結果
平成26年度都区財政調整(当初算定)の荒川区算定額
平成26年度行政評価の結果報告
平成25年度荒川区包括年次財務報告書

【行政視察】

期日前投票所の一部変更
選挙公報(区議会議員選挙)の見直し
山口県萩市「市立博物館の管理運営」「産業振興の取り組み」

【行政視察】

滋賀県「通年議会に係る実施状況及びこれまでの検討経緯、結果等」、堺市「議会力向上会議の実施内容や検討経緯及び結果

平成26年度荒川区議会定例会について(開会会議の会議期間について)ほか
平成26年度荒川区議会定例会・5月緊急会議について(初日の開会日について)ほか
平成26年度荒川区議会定例会・6月会議について(初日の開会日について)ほか
平成26年度荒川区議会定例会・6月会議について(6月会議の終了について)ほか
平成26年度荒川区議会定例会・9月会議について(初日の開会日について)ほか
平成26年度荒川区議会定例会・9月会議について(議事日程について)ほか
平成26年度荒川区議会定例会・9月会議について(議事日程について)ほか
平成26年度荒川区議会定例会・9月会議について(議事日程について)ほか